

令和8年3月2日

保護者の皆様

鳴門市林崎小学校長 上岡 祐司

## 令和7年度学校評価アンケートの結果について

学校評価アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。今年度の結果について次のとおりご報告いたします。この結果は、本校教育の改善と充実を図るために活用させていただきます。なお、児童・保護者アンケートの集計数値は別紙に掲載しておりますのでご覧ください。

### I アンケートの集計結果より

#### 1 児童アンケート

(1) 成果（番号は質問番号を示しています）

- ①「先生は、毎日の授業をわかりやすく教えてくれる。」では、95%以上が肯定的回答をしています。学校全体で分かりやすい授業を展開した成果だと考えます。今後も継続的にわかりやすい授業を進めて参ります。
- ②「漢字や計算の力がついてきている。」では、94%以上が肯定的回答をしています。基礎・基本の力の向上を目指した取組の成果と考えており、更に取組を進めて参ります。
- ⑤「授業中、人の話を集中して聞いている。」では、95%以上が肯定的回答をしています。落ち着いた環境の中で、児童一人一人を大切にした授業を心がけた成果だと考えます。今後も継続的に授業改善をして参ります。
- ⑧「工夫した自主学習をしている。(宿題以外にも読書などを進んでしている。)」では、84%が肯定的回答をしています。児童一人一人が学びに対しての主体性が増えたからだと考えます。更にICT機器を効果的に使うなど、学びの多様性も含め取組を進めて参ります。
- ⑨「グループで調べたり、話し合ったりする学習が好きである。」では、88%以上が肯定的回答をしています。今年度、ペア・グループ学習に積極的に取り組んだからだと考えており、今後も取組を進めて参ります。
- ⑪「自分には、よいところがある。」では、88%以上が肯定的回答をしています。学校全体で児童の自己有用感が高まるように取り組んだ成果だと考えます。今後も継続して取組を進めて参ります。
- ⑮「身の回りの整頓は、自分でできている。」では、88%が肯定的回答をしています。保護者の方々のご協力もあり、児童の意識の向上が図られたと考えます。今後も、学校全体でしっかりと呼びかけて参ります。

- ㉒「地域の行事などに参加している。」では、75%以上が肯定的回答をしています。これまで、地域と連携した取組を推進してきた結果だと考えます。更に道徳科の授業などを通して、ふるさとに愛着と誇りをもった児童の育成を進めて参ります。

## (2) 課題

- ③「テストでは、思い通りの点数が取れている。」の肯定的回答は約78%となっています。これまで、基礎基本の力の定着を図ってきておりますが、今後はICT機器も効果的に使いながら、児童の学力の向上を進めて参ります。
- ⑫「先生は、勉強や運動、生活でがんばったときほめてくれる。」の肯定的回答は、90%以上いたものの、昨年度に比べ、3.0%低い割合となっていました。スクールワイドPBSを進めながら、更に全教職員が児童の頑張りをほめるようにして参ります。
- ⑱「学校では、ろうかや階段の右側を静かに一列で歩いている。」の肯定的回答が昨年度より5.8%下がりました。まわりの児童への配慮や安全に対する意識を高められるよう、学校全体で呼びかけて参ります。
- ㉓「先生は、困ったり、悩んだりしたときに、相談にのってくれる。」の肯定的回答が昨年度より2.9%下がりました。全ての教職員が児童一人一人に寄り添いながら、児童の困り感に対応できるようにして参ります。
- ㉔「学校へいくのが楽しい。」の肯定的回答が昨年度より4.4%下がりました。いじめのない楽しい学校づくりに向け、全教職員で意識を高めながら取り組んで参ります。
- ㉗「避難訓練などは、真剣に取り組んでいる。」の肯定的回答が昨年度より5.8%下がりました。更に防災教育について、地域と連携した取組を進めて参ります。

## 2 保護者アンケート

### (1) 成果

- ③「学校は、基礎的な学力定着に熱心に取り組んでいる。」では91%以上が、④「学校は、子どもの体力づくりに熱心に取り組んでいる。」では90%以上が肯定的回答となっています。ご家庭における学校の教育活動へのご理解・ご協力がうかがえます。
- ⑪「子どもが早寝・早起き・朝ごはんが守れるように気をつけている。」では、90%以上が肯定的回答となっています。これまで全県において取り組んできた「早寝・早起き・朝ごはん」の活動について、理解が深まったと考えております。
- ⑫「子どもは、自分の身のまわりのことを自分でしている。」では、肯定的回答が85%以上となっています。学校と家庭が連携しながら、児童に対して呼びかけていった成果だと考えています。更に家庭と連携した取組を進めて参ります。
- ⑭「子どもが携帯やゲームを長時間しないようにルールを決めている。」では、肯定的回答が昨年度より5.8%高くなりました。これまで児童の携帯やゲームの安全な使用法について学校からの呼びかけに、ご理解・ご協力いただいた結果と考えています。今後も携帯の正しい利用法などについて、学校と家庭が連携しながら進めて参ります。
- ㉑「子どもと防災のことについて、家で話し合っている。」では、肯定的回答が昨年度より7.8%高くなっています。これまで地域と連携した防災教育に取り組んできて成果だと考えます。今後も、防災教育に取り組んで参ります。

## (2) 課題

- ①「子どもは、学校の勉強に意欲的に取り組んでいる。」の肯定的回答が昨年度から2.5%低くなっています。今後とも授業改善を進めながら、児童の主体的な学びについて、支援して参ります。
- ⑥「子どもは家庭学習(宿題)をきちんとしている。」の肯定的回答が昨年度から5.5%低くなっています。これからも全教職員が、学校での学びと家庭での学びをしっかりと連携させながら児童の確かな学力の育成を進めて参ります。
- ⑦「子どもは、自分のいいところを理解している。」の肯定的回答が昨年度より5.5%低くなっています。学校で取り組んでいるポジティブ行動支援についての取組を推進し、児童の自己有用感の向上を進めて参ります。
- ⑮「子どもは、先生、友達、近所の人に進んであいさつをしている。」の肯定的回答が昨年度より7.4%低くなっています。更に学校と家庭が連携し、あいさつの大切さについて、しっかりと呼びかけて参ります。
- ⑳「学校は、いじめや生徒指導の問題について、素早く対応してくれる。」の肯定的回答が昨年度より8.8%低くなっています。学校の全教職員がいじめのない学校づくりに取り組み、安全・安心な学校にして参ります。
- ㉕「学校は、保護者や地域の人々が行きやすい学校になっている。」の肯定的回答が昨年度より3.9%低くなっています。学校の取組等を家庭や地域にもしっかりと発信し、学校・家庭・地域の連携をさらに深めて参ります。

## II 学校関係者評価での意見

- 学校における教育では、他者から学ぶということが重要だと考える。子供の数が減っていく状況の中で、他者を思いやることの大切さをしっかりと教えることなど、人間同士の心の交流が大切になる。
- 未来の世界がどう動いていくのかを子供たちが自分自身の問題として捉え、自分で立ち上がることができるたくましい子供を育てることが大切である。社会が変化し、学習の形態もどんどんと変わっていくが、多くの人に関わりながら子供を育てていくということが重要となると思う。
- 地域とのつながりについても改めて考えていくことが必要だと考える。携帯電話等も発達し、家の中で他人とつながることができる時代になりつつあり、学校や家庭でも使用法についても指導していかなければいけないが、学校や家庭だけでは難しい時代になっている。学校で実際の人間関係の中でコミュニケーション力をつけることも大切だと考える。
- 以前は、各地域にあった行事も少なくなってきたので、学校、家庭、地域が連携しながら活動をしていくことが必要になっていると感じている。防災活動は、連携が大切であり、よりよい活動を開発しながら、取り組んでいくことが効果的ではないかと考える。
- ネットの影響が大きくなっていく中で、このような技術を使っていくことを、どのように子供たちに伝えていくのが重要であり、そのことを保護者にどう伝えていくのかも今後、ますます重要となる。
- 時代が大きく変化しており、学校、家庭、地域の連携をより深めていくことが重要だと考える。